



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1995・96年度国際ロータリー・テーマ 国際ロータリー会長 ハーバート・グラハム・ブラウン



Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace

職業奉仕月間

米山月間

〈本日のプログラム〉

第 385 回 平成 7 年 10 月 27 日(金)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「 手に手つないで 」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 職 場 訪 問
8. 点 鐘

会 長 藤 堂 孝 一
副 会 長 斎 藤 芳 夫
幹 事 福 井 輝 文
会 計 中 武 靖 雄
会 議 委 員 長 垂 水 敏 雄

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015

事務所 ☎880-02佐土原町大字下田島7912

(株)福井工務店内☎0985-73-0291

第384回例会記録

(1995.10.20)

☆会長の時間

藤堂孝一君

皆さん今日は、本日は第384回例会です。9月29日の例会でお知らせいたしました、宮崎日日新聞西佐土原販売センター・マツダ商事代表取締役松田清隆氏のご入会式を後で行いますので、よろしくお願いたします。

上田島地区に同志会というグループがあります。45年ほどの永い歴史を有し、毎月15日に例会を開いています。その都度誰かが話題を提供し、それについて皆が意見を出し合う、楽しく盛り上がる集いです。当クラブの会員である池田・正岡・斎藤君と私も入会しています。

今月15日の例会では、斎藤芳夫君が元教師であられた立場から、『子供の躰について』の話題を出され、討議しました。昔は教師の教育上の児童・生徒に対する体罰が、“愛の鞭”として親にも理解され、表面に問題化することはなかった。今は体罰を与えると、直ちに保護者やPTAなどから校長、教育委員会に苦情が来る時代になってしまった。

子供の非行や暴力行為の原因は、まず第一に家庭における親の躰ができていない点にあるのではないか。

というようなことが話し合われました。

たまたま本日の例会に、ハーバートG. ブラウン国際ロータリー会長より、社会

の基本的な構成要素である家庭が崩壊しつつあり、社会の機構を脅かしている現状を憂慮して、家庭を強化し、安定した社会を築くために、全ロータリアンの献身を促す宣言が送られて来ました。

その全文を週報に掲載しますので、熟読していただきますようお願い申し上げます。

☆会員増強委員会よ

り 委員長 正岡文郁君

新会員のご紹介をさせていただきます。

まつだ きよたか
松田清隆君

昭和26年5月21日生

本籍 佐土原町大字上田島1205-63

現住所 同上

学歴 宮崎電子工業高等学校卒業

職歴 昭和45年 池上通信機(株)
入社 (川崎市)

昭和47年 同社を退社

昭和48年 宮日販売KK入社

昭和51年 宮崎日日新聞西佐

土原販売センターを引き継ぐ

松田商事を創立し代表取締役に

就任、現在に至る

ご家族 令夫人 いつ子さん

ご長女 きよみさん(大学生)

ご二女 みかさん(藤崎女子大)

ご結婚記念日 昭和48年9月2日

ご趣味 釣り ゴルフ

松田君は、西都RCの浜砂会長が絶賛されている人望の高い方です。必ずや佐土原クラブに新風を吹き込まれ、活力を与えてくださることと確信いたします。

☆入会式

藤堂会長より松田清隆君にロータリーの綱領及びバッジを贈呈（装着）し、全会員が祝福の大拍手を捧げました。

☆松田清隆君のご挨拶

本日から佐土原ロータリークラブに入会させていただくことになり、有り難く思っています。西都クラブの浜砂会長からも以前から、ロータリークラブに入会して勉強するように勧められていたのですが、正岡さんをはじめ佐土原クラブの役員の方の熱心なお誘いがありましたので、この機会にいろいろ学びたいと考え、入会しようと決意した次第であります。

今後なにとぞよろしくご願ひ申し上げます。

☆幹事報告

福井輝文君

1. 例会変更通知

- * 宮崎北RC 10月25日 12:30
宮崎県立美術館
- * 宮崎中央RC 10月26日19:30
宮崎第一ホテル
- * 宮崎RC 10月31日 7:20
宮崎中央卸売市場

☆出席報告

委員長 恒吉正志君

会 員 数	30名
H C出席者数	27名
欠 席 者 数	3名
出 席 率	90%
欠 席 者 名	徳丸・加藤・吉田

☆親睦委員会より

委員長 郡 司 武 俊 君

1. 佐土原ロータリークラブ・ゴルフコンペを次のように開催したいと思いますので、奮ってご参加ください。

- 日時 11月9日 7:50スタート
 - 場所 愛和ゴルフクラブ宮崎コース
 - 4組（16名）予約してあります。
 - 競技はダブルベリアで行います。
- 参加ご希望の方は次週の例会までに私に申し込んでください。

2. 11月10日（金）の夜間例会の後で、児玉武文君の送別会と、松田清隆君並びに2名の新会員（内定）の歓迎会を行いますので、全員のご出席をお願いいたします。

☆職業奉仕委員会よ

り 委員長 大野高志君

来週の例会（10月27日）は職場訪問になっています。訪問先は佐土原町歴史資料館『鶴松館』と文化財管理センターです。当日は正午までに鶴松館の駐車場にご集合ください。

☆社会奉仕委員会よ

り 委員長 伊東忠寛君

先週の例会で藤堂会長より、兵庫県の小野ロータリークラブから送られて来ました「自覚」と題する詩文の取扱いについて相談がありましたが、町役場又は久峰総合公園に同詩文の立看板を設置し、各会員の事業所にもA3判程度に印刷したものを掲示していただくようにしたいと考えます。[全員の賛同がありました]
※恒吉会員の卓話は次の週報に掲載します。



家庭および社会への ロータリーの献身

「ロータリーの鼓動」とも言える社会奉仕は、長い間、ロータリアンとロータリー・クラブにとっての中心的関心事項であり続けてきました。一層複雑化しつつある新たな問題が私達の社会を苛んでいる今日、私達は、私達の努力を検討し直さなければなりません。

地元の公園の清掃などといった、社会の「無難な」ニーズを超えて、家庭内暴力、ギャング、子供の虐待および放任、その他の無視されがちな複雑な問題に対処する、ロータリーの活動が必要とされています。私達が、社会奉仕プログラムを現実的に評価するならば、私達の社会は、これまで行なってきた社会奉仕プログラム以上のものを必要としており、私達にはそれ以上のものを実行する能力があることに気付きます。

まず、社会の基本的構成要素である「家庭」から対処し始めようではありませんか。今日の家族は、いくつもの複雑な問題に包囲されています。世界の多くの場所で、厳しい経済的困難が、家庭を破壊し、罪の無い子供達を路上の危険な生活に追いやっています。子供のことを案じ教育にいそむ親達でさえ、麻薬、ギャング、暴力などが子供達の生活に与える影響を阻止することの困難さに直面しています。

家庭を強化するためにロータリー・クラブにできることはたくさんあります。まず、地域社会に、人間としての普遍的な価値観の重要性を植え付け直す活動から始めることです。その最も基本的な価値観のひとつは、他の人達への思いやりです。これは、模範を示すことによってもみ教えることのできる価値観です。しばしば、大人としての生活では、家族のニーズを犠牲にして、個人としてのニーズを満たすことに集中してしまうことがあります。誰かが私達に関心を示してくれた時のみに、私達はその人に関心を持つという態度が身に付いてしまいました。今日の見捨てられた青少年や、その不幸な家族にとって、ロータリアンは、「関心を示してくれる誰か」となることができます。お互いに愛し合い、尊敬し合うように、また、目標を設定してその達成に向けて努力するようにと子供達を教育すれば、人生の重要な要素となるこれらの価値観を、後の世代にも伝えて行くことができます。

そこで、明白な事実として浮び上がってくるのは次の点です：

- ・ 社会の基本的な構成要素である家庭は、その構造が崩壊されつつあり、複雑な社会的かつ経済的問題と化しつつあります。
- ・ 家族構成の崩壊は、一方では、社会の機構を脅かしています。
- ・ ロータリーの長年にわたる社会奉仕への献身を考えれば、ロータリアンにとって、今日の家庭の危機に積極的に対処して行くことは必至の課題となります。

よって、世界中のロータリアン、ロータリー・クラブ、地区は、次のことを実行するように奨励されています：

- ・ 家庭内暴力、子供の虐待/放任、ホームレス、薬物とアルコールの濫用、ギャング活動、託児所の必要、失業などといった、今日、家族が直面している最も手ごわい問題を解消するために力を合わせる事
- ・ 家庭、学校、世界中の地域社会に、人間としての普遍的な価値観の重要性を実感させること
- ・ 家庭を強化し、社会にとって安定した礎の役割を担う新プロジェクトの着手、または、現行のプロジェクトの継続